



時代の変遷に思う

「山笑う」は春の季語で、山では木々が一斉に黄や緑色の新芽を出し鮮やかな花を咲かせてにわかには活気づく様子を表している。五月はさつきばれが美しく暖かくなり昼間も長くなる季節である。また5月3日は憲法記念日、4日はみどりの日、5日はこどもの日と三連休が定められていて、この5月の連休は若い人々にとっては年に一度の楽しい行楽シーズンに期待している人々が多いと思われる。家族そろっての旅行はそう度々出来るものではなく楽しい事であるが、交通機関の混雑に悩まされたり、近頃に行楽地は海外の観光客が急増しているという事情もあって、楽しみと同時に疲労の色も濃くなる気配がみられるようである。

ところで、このような希望に満ちた楽しい家族旅行で十分に満足できても、家庭に帰り着くころには遊び疲れが出てくるものである。我が家に戻りいつものソファに腰をおろしたり、畳の上に座ったりしたとたん“やっぱり我が家が一番落ち着ける場所だ”としみじみ感じるものと思われる。荷物を広げ普段着に着かえ、メイクを落とすことで女性は旅行の緊張感から解放されてリラックスできるものらしい。

これからの季節は春から夏への移行期であって、人々は衣替えの時期となり寝具や家具の入れ替えなども同時に行う必要に迫られて、整理箆箆やクローゼットなどの整理、入れ替え、整頓などに多くの時間と労力を要するものである。そんな仕事をしていると一年中殆ど使われなかったような衣類や家財道具などを見つけることも多く、それらの片付けもついでに行う必要に迫られることがある。私たちは長い人生において職業や趣味そして生活必需品などとして使ってきた品物や、忘れていたような古い品物があちらこちらに散在しているもので、お年寄りには人生の終焉を前にして少しは身辺整理の必要を考えることもあろうかと思う。

一方、現代のような文明社会では次々と開発される新製品に共鳴する人々もいて、それを利用しようとする意欲も盛んで、家庭内には新旧の道具や衣類など様々な商品が何時の間にか家の中に溜まってしまいう傾向がある。そのため季節の変わり目にはそれらの商品の片付けや整理が必要となり、若い頃にはそれほど苦にならないものが年を取ってくると決して楽ではなくなる。かといってそのまま放置しておけば生活する空間が徐々に狭められる結果となり、その邪魔物をあっさり捨てれば良いのだが、それが簡単に捨てきれないものであって悩みの種になることがある。

そもそも人間は「いろいろな品物を残しておこう」とする傾向があり、それは古代の人類からの飢餓に備えるという本能によるものだと言われ、品物を捨てることを避け、

残しておこうとする性質があるらしい。現在の高齢者は若いときからほぼ一様に戦中戦後の厳しい生活を強いられた体験から、“勿体無い”の気持ちを忘れることができなくなったものと思われ、その時代には物を大切にすることが日本人の美徳の現われとされていたようである。そのため、以前ケニア出身の環境保護活動家で環境分野でのノーベル賞を受賞されたワンガリマイターさん(故人)によって、この“勿体無い”の思想は世界中に広められ、環境保護を象徴する言葉になったといわれる。

私自身も高齢者となり、長い人生の間には家具や衣類、美術品や書籍、その他様々な物品が数多くたまるもので、それを上手に保存していくには不用と思われる物は捨て、必要なものは要領よく整理することが大切と思われる。しかし、その作業は簡単なことのようにあるが、捨てる判断と実行は私にとっては厄介な事柄だと思っている。

話は変わり、これまでは家屋の中にある品物について述べてきたが、次は住宅(家屋)について考えてみたい。終戦後は災害復興事業が盛んに行われた時代で木造、鉄筋コンクリート造り、鉄骨造りなど様々な形式の住居が数多く建設され、この片田舎でも公共工事と並んでしっかりした木造家屋や多種類の住宅が次々に建てられた時期があった。しかし、高度経済成長の時代から団塊の世代を経て、現代の少子高齢社会へと世の中が大きく変化してきたなかで、住宅事情も多世代の大家族住宅から核家族住宅へと家屋の形態も様変わりをしてきた。古い時代の家屋は多人数が住めるスペースと冠婚葬祭にも使える広間になるような間取りの構造が多くどこの家屋も似たような形態であった。しかし、現代ではプライバシーが保たれる間取であって耐震性のある様々なスタイルの二階建ての家が多いように思われる。階段のある家は年寄りには不便な感じもするが、若い人達にとっては車社会の運動不足を補う意味からも良い建物と思われる。

このように古いものから新しいものへと大きく変化した家屋が次々と新築されているようだが、その反面として今までの古い建物が空き家のままで放置されているのが現状である。その理由として空き家を取り壊すには多額の経費が必要であること、持ち主が特定し難いこと、更地にすると税金が高くなることなどの諸問題があるらしい。この空き家のように長い期間使用されずに放置されると家屋は早く朽ちるものであり、人間の体も毎日使わなければ体の機能は次第に必ず衰えるものである。そのため日々自分の体に合った運動や活動を続けることの大切さを知り、その対策として書籍や新聞、テレビなどでしばしば報道されている指針を参考にして健康長壽に努めたい。

